関係機関の長 殿

福島工業高等専門学校長
山下 治
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、本校では下記公募要項により教員を公募することとなりましたので、貴職関係者にご周知
くださいますとともに、適任者の推薦についてよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 概 要 募集人員：特命教授、特命准教授又は特命助教 1名
所属学科：ビジネスコミュニケーション学科
専門分野：経済学、経営学、異文化コミュニケーション学分野
担当科目：Development studies, Business Case Studies, Academic Writing,
Intercultural Communication etc.
2. 応募資格 (1)高等専門学校の教育に理解があり、学生の教育・指導に熱心な者
(2)修士の学位を有するか、これと同等あるいはそれ以上の教育・研究業績を有する者
(3)英語で授業ができること
(4)日本語を母語としない者にあつては、日本語での業務が可能であること
3. 着任時期 2019年4月1日
4. 任 期 2019年4月1日から2020年3月31日まで
※なお、予算状況及び勤務実績により、雇用期間の更新あり(最長で2021年3月31日まで)
5. 応募書類 (1)履歴書(市販の履歴書(学校指定の書式がある場合はその書式)に写真貼付、メールアドレス記入)
(2)研究業績一覧(A4サイズ、様式自由、著書・論文・口頭発表等に分類)
(3)主要論文・著書3篇以内(各1部、コピー可、共同執筆の場合は分担箇所を明示)とその概要
(4)教育業績一覧(教育経験のある者、A4サイズ、様式自由)
(5)着任後の教育・研究及び学生指導に対する計画・抱負(日本語又は英語でA4サイズ1枚程度、様式自由)
(6)英語力、その他外国語の運用能力を示すもの(留学経験がある場合には留学先とその期間、TOEIC・TOEFL・英検等の結果のコピー)
(7)日本語を母語としない者にあつては、日本語力を証明する書類(日本語能力試験等の証明書のコピー)の提出が望ましい
(8)推薦状(1名以上、必要に応じて2名以上も可)
(9)推薦者以外で照会できる方1名以上(必要に応じて2名以上も可)の連絡先情報(住所、氏名、所属、電話番号及びメールアドレス)
6. 応募締切 2019年1月11日(金)必着
7. 選考方法 第一次選考 書類審査
第二次選考 一次選考合格者に対して面接審査(模擬授業を含む)
面接予定日：2019年1月
※ 第二次選考に要する旅費等の経費は応募者本人の負担となります。
8. 採否の決定 個別に連絡
9. 書類提出先 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校 総務課人事係

(簡易書留、封筒の表に「ビジネスコミュニケーション学科教員応募」と朱書のこと。原則として応募書類は返却しませんが、特に返却を希望される者は、返信用封筒(切手貼付)を同封のこと。)

10. 問い合わせ先 福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科長 芥川 一則

E-mail : akutagawa@fukushima-nct.ac.jp

Tel/FAX : 0246-46-0847

11. U R L <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>

12. 備 考 (1)本校は、男女共同参画を推進しており、業績(教育業績、研究業績、社会的貢献人物を含む。)の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。また、グローバル化への対応の観点から日本語以外に高い語学の能力を有すると認められた場合にも、その応募者を優先的に採用します。
(2)本公募要領は、JREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/>)において、英語版も公開しています。

(参考) 福島高専の教員が携わる授業以外の職務概要

平成16年4月より、全国55の国立高等専門学校は、法人化されて、独立行政法人国立高等専門学校機構として再編され、福島工業高等専門学校もその一組織となりました。本校には、本科（5年）と専攻科（2年）があります。現在、わが国の高等教育機関には大きな変革の波が押し寄せており、本校も改革に全校あげて取り組んでいます。また、高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20歳、専攻科：20～22歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。すなわち、高専の教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導などすべてをこなさなければなりません。以下では、福島高専の教員の授業（実験実習等を含む）以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

(1) 学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ、各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。例えば、寮務委員は寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の学生の委員会活動の指導などの職務があります。

(2) 研究

高専の教員は、最先端の教育を行うために研究することを法律で義務づけられています。教員には、研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。

(3) クラブ顧問

ほぼすべての教員が、クラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。